

ふしぎがいっぱい（4年）「ツバメがやってきた！」利用案

江東区立八名川小学校 黄地 健男

【単元のねらい】

季節ごとの動物の活動や植物の成長について興味・関心をもって追究する活動を通して、動物の活動や植物の成長を季節と関係付ける能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生物を愛護する態度を育て、動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりについての見方や考え方をもちることができるようにする。

【番組の利用にあたって】

番組では、春に見かけたツバメの巣に、毎年4月下旬から5月になるとツバメがやってくることを紹介している。そして、ツバメを観察する活動を通して、ツバメが夏の近づく季節にやってきて子育てをすることと、気温の上昇による自然環境の変化に何か関係があるのではないかと投げかけ番組が終わる。よって、単元の導入で視聴することで、子ども達に他の動物や植物はどのように変化したか、身の回りの生き物を観察してみたいといった意欲を高めることができる。

○：学習活動 ◇：支援 ◆：番組 ■：クリップ ▲：ワークシート

次	時	学習活動	教師の支援
1 次 天 気 と 気 温	1	○春に観察した生き物の様子を観察カードなどの記録をもとに振り返る。 ・池にオタマジャクシがいた。 ・ツルレイシに子葉や小さな本葉が見られた。 ・ツバメがいるのを見かけた。 ◆「ツバメがやってきた！」番組視聴〈10分〉	◇記録をもとに春に観察したツバメの様子を想起させ、その後どうなったと思うか話し合わせる。
	2	夏になって、動物や植物の様子はどのように変わったのだろうか。	
	3	■観察1 ○春と比べ、生き物の様子はどのように変わったか予想を行い、観察を行う。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・オオカマキリやトンボなどの昆虫が見られた。 ・ツルレイシの葉が大きくなったり、ツルが伸びたりしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇デジカメなどを活用し、記録することも考えられる。 ◇ツルレイシの成長を継続観察し、グラフに表し、気温との関係を理解させる。
<p>夏になり気温が上がると、動物の活動が活発になったり、植物も大きく成長したりする。</p>		
4	<ul style="list-style-type: none"> ○本や図鑑、インターネットなどを使って、他の地域の夏の様子を調べる。 ・同じ時期でも、場所によって気温などの気候が違うので、生き物の様子が違うことが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■チゴハヤブサの飛来 ■キビタキの飛来 ■東南アジアから日本へ渡るツバメ ■冬をすごすツバメ ■春にやってくるツバメ